

経営理念・経営方針

JAグループは、利潤の追求を第一義とする株式会社ではなく、人々が“絆”により連帯し助け合う「相互扶助」の精神のもと、農家をはじめとする地域の組合員と一緒に協同して事業や活動をすることで、一人ひとりの活動では得られない充実した経済的・文化的利益を得ることを第一の目的とする“協同組合”組織です。

当会は、JAグループの一員として、県内各地域にあるJAの信用事業をサポートする県本部機能を担うとともに、自らも農業・地域金融機関として県内全域にわたって金融サービスを提供する事業を行っています。

■ 経営理念

当会は、次の「経営理念」を掲げて、日々の経営・業務に取り組んでいます。

当会は、

1. 「農と食」を基軸とするJAグループの一員として、県内農業をしっかりと支えるとともに、地域の活性化に貢献します。
2. 県下JAの信用事業の安定的かつ効率的な運営に向けて力を尽くし、県下JAの地域における存在感向上に貢献します。
3. 自らの社会的責任と公共的使命を認識し、経営の自己責任原則のもと、健全かつ適切な事業運営に徹します。
4. 職員が能力を十分に発揮できる働きがいのある職場をつくります。

■ 長期ビジョン

当会は、10年後に目指す姿として、「長期ビジョン」を平成28年1月に策定し、その実現に向けて、役職員が一丸となって取り組んでいます。

1. 大規模農業法人等のメインバンクとして高く支持されるとともに、地域産業の発展に貢献していると評価される金融機関
2. 県下JA信用事業における支援役・牽引役として、必要不可欠であると評価され続ける組織
3. いかなる環境の変化にも耐え得る強固な財務基盤を有する金融機関
4. 職員一人ひとりが仕事に誇りを持ち、働きがいを感じる職員満足度の高い組織

■ 中期経営計画

当会は、次の事項を重点課題とする「中期経営計画（令和元年度～令和3年度）」を策定し、その実現・実践に取り組んでいます。

1. 収益力の強化
 - 貸出残高の増強
 - 余裕金運用効率のさらなる向上
 - 収益増強とリスクのバランスに配慮した有価証券ポートフォリオの構築
 - 貸出および有価証券運用増強に応じた適切なリスク管理の実践
 - 業務のスリム化・合理化
2. 県下JAバンクの農業金融機関としての存在感強化
 - 農業融資残高の伸長およびシェア向上
 - 担い手満足度の向上
3. JAバンク三重中期戦略（令和元年度～令和3年度）の完遂
 - 標記戦略にもとづく「本会実践・支援事項」の完遂
 - 県中央会連合会化にともなう新たな「JAバンク基本方針」に則った指導支援

■ JAバンク三重中期戦略

JAバンク三重は、次の事項を基本方針および重点課題とする「JAバンク三重中期戦略（令和元年度～令和3年度）」を策定し、その実現・実践に取り組んでいます。

【基本方針】

持続可能な収益構造を構築、“食・農”を基軸として地域からより一層必要とされる存在を目指す

1. 農業金融の強化と地域活性化に向けた取組み
 - 農業メインバンク機能発揮による農業資金残高の伸長と農業者の成長支援
 - 地域農業を支えるパートナーとの関係深化
2. 強固な顧客基盤の形成と事業量の確保
 - ローン利用者の拡大と貸出金残高の積上げ
 - 取引メイン化と調達コストを抑制した事業量の確保
 - 大口利用世帯との関係深化・取引深耕
3. 事業運営態勢の再構築
 - 合理的・効率的な事業運営の実現と組合員等の利便性・満足度の維持・向上
 - 時代に要請される人材の育成
 - 内部管理態勢の強化と経営健全性の確保